

## 第29回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

## シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技（SERC）状況設定

## 1. SERC とは

1 チーム4名の競技者が、指定された制限時間内でいかに適切な救助ができるかを競う採点競技です。採点は、それぞれの溺者・傷病者の救助をみる採点員と全体の状況を見る主任採点員によって行われます。

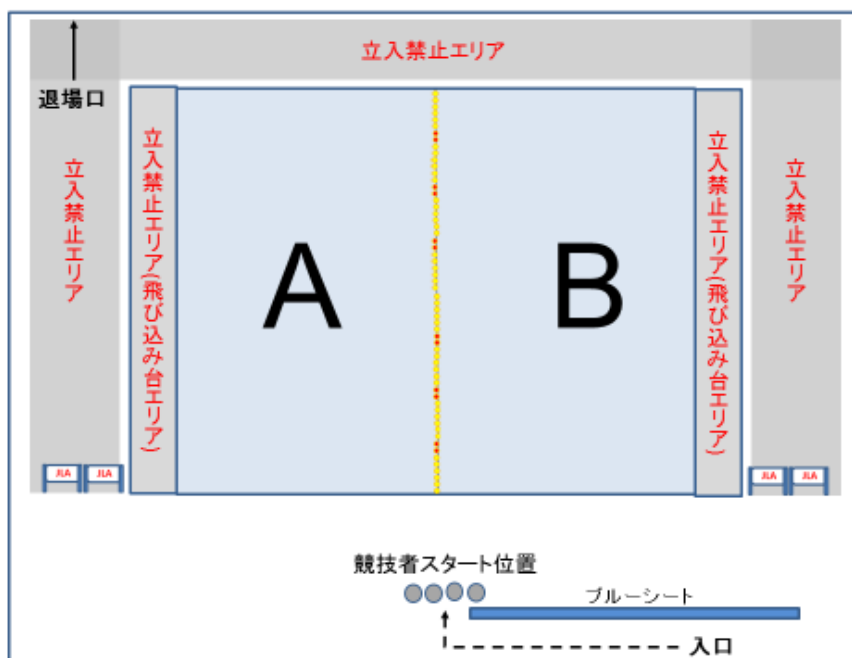
<注意>

観覧席からなんらかのサインを出した場合、あなたのチームが失格になりますのでご注意ください。

## 2. 状況設定

競技者は、競技開始前に以下の           分のみ知らされています。

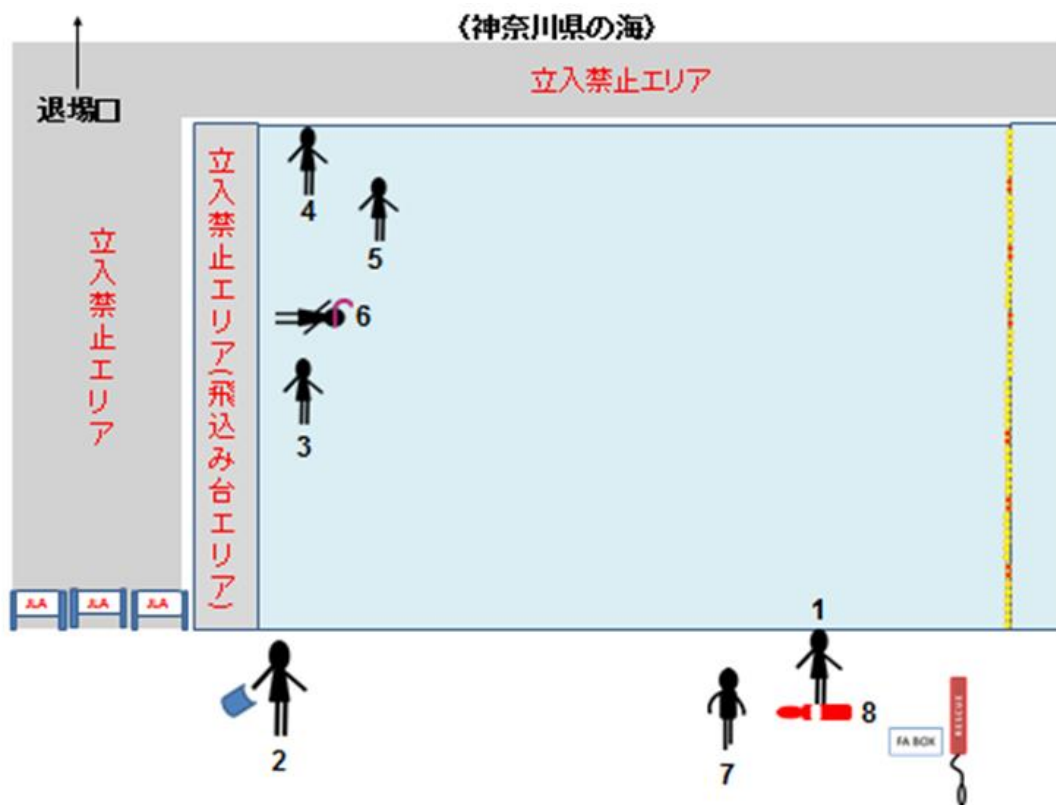
ここは、神奈川県にある海水浴場です。  
浴場内には離岸流が発生していて、いくつかの事故が起っています。  
救急車とAEDはすでに要請済みです。  
90秒以内で救助を行ってください。



現場には下記の救助器材と物品があります。

- ① レスキューチューブ 1本
- ② FA BOX (三角巾、傷病者等記録票、ハサミ、感染予防用ゴム手袋、タオル) 1個

- ・額に「X」の印がついている場合は、意識なし、呼吸なし、頸椎（髄）損傷なしの状態とします。
- ・スタートの時点で競技者は何も持っていない状況です。
- ・立入禁止エリアで溺者をプールサイドにつかまらせても水中と判断します。



<詳細>

役者	設定	状況詳細
1	一般客	遊泳者：CPR を行っている。
2	一般客	傷病者：左前腕骨折
3	一般客	軽溺：4,5 と友人で沖に流されている。
4	一般客	軽溺：3,5 と友人で沖に流されている。
5	一般客	軽溺：3,4 と友人で沖に流されている。
6	一般客	遊泳者：シュノーケリングで遊泳中。
7	一般客	遊泳者：8 の友人
8	一般客(マネキン)	重溺：意識なし、呼吸なし

※図は、A エリアの例です。B エリアは、これと対称的なレイアウトとなります。

<採点>

SERC の採点は、それぞれの溺者・傷病者に対する処置とともに優先順位が評価されます。

溺者・傷病者に対する救助の優先順位：

- ① 泳力の弱い人、自力で移動できる人
- ② 危険の迫った人（泳げない人、ケガをした泳者）
- ③ 継続的なケアが必要な人（意識がない人、呼吸がない人、頸椎の損傷が疑わしい人）

※SERC に関する詳細は下記ご参照ください。

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会 HP <http://www.jla.gr.jp/>